



4/5 粟生小学校入学式      4/5 寺井中学校入学式      4/8 九谷焼担い手職人工房開所式      4/8 寺井高校入学式



4/17 粟生いきいきサロン防災      4/18 能美市赤十字奉仕団総会



4/27 げんきかい総会&市政報告会      4/28 市トランポリン協会 総会&交流会      5/14 市商工会総代会



5/18 男女平等講演会      5/19 三道山町運動会      5/23 市観光物産協会総会      5/26 粟生町運動会



6/1 粟生小学校運動会      6/9 全国銃剣道能美大会      6/16 市自衛消防団訓練大会      6/18 能美市商工まちづくり研究



6/23 市消防団訓練大会      6/23 市トランポリン大会      6/27 シェレホフ訪問団歓迎式      6/25 新幹線手取川連結式



6/29 男女共同参画のつと      6/30 環境フェスタ      7/7 市男女共同参画講演会      7/24 市中学生 施設訪問

能美市議会議員  
たなか 田中 策次郎  
さくじろう

令和元年 夏 第27号

能美市内 全戸配布版

絆 きずな ~能美市政報告~



6月議会 一般質問

- J D I 人員削減での市の影響について問う
- 自然エネルギー推進を問う
- ボランティアの若手育成について問う
- ボランティアグループ活動支援を問う
- 介助ボランティアや介助者の「のみバス」を無料に

第25回参議院議員選挙 全国比例区で、地元「宮本しゅうじ」が2期目の当選！（2019/7/21）



のみ子ども食堂ネットワーク in 三道山 1周年☆（2019/7/19）

月に1度開催し 7月で1年を迎えました。多くの方々にご支援頂きありがとうございます。



のみ子ども食堂  
ネットワーク  
in 三道山  
ホームページ



スタッフの皆さんありがとう！

● JDI 人員削減での影響について問う

ジャパンディスプレイ (JDI) の1000人規模の人員削減の報道がされた。市内にも川北町や白山市のJDIに勤務される方も多くいる。市内にはJDIの関連会社のジェイオーレッド (JOLED) がある。 ● JDI の市内勤務者やJOLED能美事業所への影響は無いのか

答 小坂 清俊 産業交流部長

石川工場や白山工場には能美市在住の方も勤務しており、大変憂慮している。JOLEDの能美事業所は2020年の量産開始を目指して工場整備が進められており、計画に影響はないと聞いている。 今後も企業側や県当局等と連携を密にして情報収集に努め、経過を見守り必要な対策を講じる。



● 自然エネルギー推進について

市では自然エネルギーの普及施策として太陽光や風力発電の設置に補助金を出している。施設建設時にも自然エネルギーを取り入れた設計となっており、市民への自然エネルギーの普及や市施設への自然エネルギー導入をすすめている。

国は、地球温暖化対策の国際枠組「パリ協定」の目標達成に向けての具体策として、将来に向け出来るだけ早期に二酸化炭素の再利用や太陽光や風力など再生可能を主力の電源とすることを打ち出し、エネルギーの「温暖化対策長期戦略」を6月末に国連に提出の方針となっている。

2016年に電力自由化となり様々な電力会社から選択し電気を購入できるようになっている。北陸電力は大手電力会社の中では全国一電気料金が安い価格設定であるが、北陸電力の自然エネルギーの割合をふやす議会からの発信になればとも考え、問う。

● 温暖化への取り組みとして、市の使用電力の一部を自然エネルギー電力事業者からの購入の考えはあるのか

答 吉光 年治 総務部長

地球温暖化は異常気象を引き起こす要因と言われ、温暖化対策は世界的に取り組む課題となっている。北陸電力からは、市に対しエネルギーコストやCO2削減への省エネコンサルタントとしての提案など、高い付加価値の提供や災害時のライフラインの連絡体制など地元に着した対応を受けている。

水力発電の比率も高く環境面で優れた電源を供給しており総合的に勘案し契約を継続している。



● ボランティアの若手育成について問う

能美市は県内でもボランティアの活動や人数が大変充実している。いま能美市ではボランティアの数は97グループ、延べ人数で約4000人が活動を行っている。現在「我がごと丸ごと」の地域福祉支援事業や手話や要約筆記・音読など「障害者福祉施策」に「子育てボランティア」による子育て支援事業、加えて「環境」「防災」「教育」「スポーツ」「文化・芸能活動」など能美市施策の中に多くのボランティア活動が活かされており、能美市が全国的に子育て支援・高齢者支援や教育文化事業が充実しているとの評価を受けるのも、市民のボランティア活動の底支えがあつての事と考える。しかし、このボランティアグループが今後、高齢化による活動の縮小を余儀なくされる状況になっていくと考えられます。県内を見ても能美市は互いに支えあう市民力の強い地域だと感じます。社会福祉協議会でもボランティアフェスティバルや小中学校のボランティア体験などを通じてボランティアに関心を持たせる事業を多く行っている。市もボランティアの必要性を理解している事と思いません。

● 若い方がボランティアに参加したり、ボランティアグループを立ち上げる支援が必要と考える。

市のボランティア若手育成についての見解を問う。

答 井出 敏朗 市長

第3次能美市地域福祉計画で、地域における自発的な行動につながる人づくりを目指し、若い世代の育成に取り組むこととしている。若い方に関心を持ってもらえるよう、情報の流し方や事例を紹介するなど検討する。今年度は啓発グッズ等を作成し、市社会福祉大会や市民ボランティアフェスティバルで周知をしていく。また、公民館活動や生涯学習活動を通して意識の醸成を図っていく。

小中学生に共生社会の理解を図るため、福祉と教育の連携のもと、人権意識や福祉意識を育てる心の教育をさらに充実させる。今後、パソコンや日曜大工など得意分野の人材バンクの登録を



● ボランティアグループ活動支援を問う

多くのボランティアグループは市社会福祉協議会や市の各担当課から活動の支援を受けながら活動を行っているが、活動を続けていくにあたり色々な課題を抱えている。市の施設を会議や活動に使わせて頂いたりなどの支援はありますが、自分たちの道具や機材を保管する場所が無いなど、健康福祉部やボランティアセンターだけでは解決出来ない困りごとを持っています。

また、市の担当職員の配置換えによりグループの活動が立ち行かなくなる事もあります。市の地域力を上げる活動である事を理解をし、職員が個人として参加する事を、市は評価をして頂きたい。

● ボランティアグループが継続し活動出来るよう、市全体でボランティアグループでは解決できない問題を調査し問題解決をはかるなどの支援は出来ないか

答 佐々木 ひふみ 健康福祉部長

ボランティア活動支援センターのボランティアコーディネーターはグループの活動段階に合わせて相談など包括的に支援をしている。今後、ボランティアグループが継続して活動できるようにボランティア活動コミュニティセンターを充実し、

市全体で課題等の情報を共有しバックアップできる体制の整備を検討する。



● 介助ボランティアや介助者の「のみバス」を無料に

現在、65歳以上の市民の方が対象となるシニアパス券や障がい者用パス券が販売されていますが、高齢者・障がい者の付き添いや介助のボランティアや家族の方は実費です。高齢者や障がいを持つ方々は、自分のために周りの方々に色々な負担掛けるのは申し訳ないといつも考えています。このような事で外に出るきっかけを失うのは本人にとっても福祉的理由からも惜しい事と考えます。

先日、政府から認知症予防の大綱素案が打ち出されました。その中には、認知症の発症を遅らせる対策に加え、認知症になっても自分らしく地域で住み続けられるよう、当事者のバリアフリーを進めるとありました。

今後さらに高齢化が進み地域で支えあう時代に向け、高齢者や障がい者の方々が気軽に外出できるような支援が必要ではないか。

● 付き添いがいれば「のみバス」に乗れる方の介助者や、介助ボランティアの「のみバス」利用を無料にできないか。

答 橋場 和彦 企画振興部長

市内の移動は「のみバス」の有効利用と維持を図りながら、多様な交通手段を利用する暮らしの有り方を



9月議会一般質問は(1日目)9月9日月曜と(2日目)10日火曜です

場所 能美市本庁舎 三階議場 事前申込みは要りません。お気軽にお越し下さい。

ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆

連絡先記載の無いご意見は返信が出来ませんので、ご返答希望の方は連絡先をお忘れのないように願います。

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町字 16-2  
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209  
Mail kizuna@3926jp.net http://3926jp.net



能美市議会映像を配信中

